

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月9日

評価対象事業		評価者	議事調査課長	木村 雅行
議会-03	実施事業	議会事務	■ 自治事務	主管課 議事調査課
			□ 法定受託事務	関連課 議会総務課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営 市議会の機能の強化のため。
効果	市議会の円滑な運営と活性化を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・議会運営に係る議事・調査事務を執行した。 ・各常任委員会において行政視察を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	298,233	2,202	当初予算(千円)	2,420		29年度決算については、「議会事務局(1課)」として事業を実施したため、事業全体の決算額を両課のシートに記載
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	298,233	2,202	一般財源	2,420		
事業経費	人員配置数	3.5	0.1	人員配置数	0.1		
	人件費(千円)	27,173	781	人件費(千円)	791		
	総事業費(千円)	325,406	2,983	総事業費(千円)	3,211		
	市民1人当りの経費(円)	1,844	17	市民1人当りの経費(円)	18		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	政策形成機能の強化に向けて、現状の事務局体制を維持するため。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・二元代表制の一翼を担う議会は、議事・議決機関として予算、条例、重要な契約などについて、市の団体意思を決定するとともに、執行機関の市政運営を監視し、事務執行をチェックする役割を果たしてきた。今後も市の重要な政策形成において地域特性や市民ニーズを反映するため、議会の機能維持を図っていく。 ・引き続き、議会の政策立案機能の強化を目指していく。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 議会改革の取り組みの一つである、各党派から出された議会運営に係る検討項目を協議する。中期検討項目(23項目を平成30年12月まで)を終了させるよう議会運営委員会のスケジュール管理をする。 各党派から出された検証内容を踏まえ、議会基本条例の検証を行う。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会を円滑に進めるための事前準備として、正・副委員長との協議調整、資料提供及びスケジュール管理を行った。 議会基本条例の検証について各党派からの検証内容の取りまとめまでを行った。 <div style="float: right;"> <input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決 </div>
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は臨時会の開催による事務の影響で中期検討項目のうち9項目の協議が終了できなかった。令和元年度は、残りの中期検討項目9項目と、長期検討項目6項目を終了できるようスケジュール管理を行う。 各党派からの検証内容をもとに、議会基本条例の検証を進めていく。

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会基本条例の制定状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市	横須賀市	逗子市	平塚市	南足柄市	
他市実績	○	○	○	○	○	○	×	×	
比較事項	議会基本条例の検証状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市	横須賀市	逗子市			
他市実績	×	×	○	×	×	×			
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市において、議会基本条例を制定している市は多いが、検証を実施している市は茅ヶ崎市議会のみであり、その他の市議会では、議員から検証・改正する必要性がないとの意見で、実施していないとのことであった。 茅ヶ崎市議会で実施した検証内容を参考に、検証する目的・範囲などを明確にした上で、議会の最高規範となる議会基本条例の検証を進めていく。 								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位	指標の傾向	備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								